

平成29年度

委員会 研究ならび事業報告

部・委員会名
人権教育委員会
(委員数 8名)

委員長	奥原 由孝	(山本小学校)
副委員長	高本 誠二郎	(泰阜中学校)
会計	熊谷 結子	(下條小学校)
記録	熊谷 結子	(下條小学校)

研究テーマ	対話により相互理解を深め、自他の個性を認め合うことができる子どもの育成 ～具体的な人権課題に即した個別的な視点からのアプローチを通して～
研究内容 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ①相互理解を深める「対話」を生み出す方法の検討(単元デザイン) <ul style="list-style-type: none"> ・先行研究を拠り所とした「対話」のとらえ ・「願う学級・生徒の姿」に向かう『「体験的な学習」に関する学習サイクル』にそった単元構想 ②相互理解の様相の分析と「学び合い高め合い」の効果の検証 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの関わり方を記録し、子どもの変容やその背景にあるものをとらえる。 ・共同追究者としての教師の変容も見ていく。 ③各教科における個別的な人権課題の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・十数項目ある個別の人権課題と中学3年間の各教科内容との関わりを整理する。(教育課程研究協議会の会場校との協力)
成果と課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ○成果 <ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見との違いを説明したり、他者の意見をつながけながら考えをまとめたりする姿や、他者の姿を見て自らよりよい行動に変えていく「自己内対話」の様相を認めることができた。 ・「体験的な学習」に関する学習サイクルを組み入れていくことで、一つの体験活動が継続的かつ 発展的な活動に高まることが示唆された。 ○課題 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの委ね方や評価のあり方等に着目しながら、「いかに学ばせるか」の立場に立った指導について、より研究を深めていきたい。 ・教科を通して行う人権教育についても研究を進めたい。
公開授業	<ul style="list-style-type: none"> ・期日：10月26日(木) ・会場校名：下條中学校 ・授業学級：1年B組 ・授業者：福澤 早彩 教諭 ・単元名：「心から楽しめる福祉交流会を目指して」(総合的な学習の時間) ・参観者：12名
他 諸活動 研修会 講演会 冊子作成 など	<ul style="list-style-type: none"> ・期日：9月7日(木) (中学校教育課程研究協議会・午後の部) ・会場：飯田西中学校 ・内容：(1) 県教育委員会からの説明と質疑応答 南信教育事務所飯田事務所主任指導主事 塚越 智英 先生 (2) 人権教育ワークショップ 南信教育事務所生涯学習課指導主事 林 尚之 先生 * 秋の人権旬間や月間、日常の人権教育の授業に使えるワークショップを学び自校での実践に役立てる ・参会者：30名